

報道関係者 各位

令和3年7月16日
(照会先)
全国健康保険協会山形支部
企画総務グループ 安達・佐藤
電話：023-629-7226

令和元年度山形支部医療費分析結果の公表 ～「循環器系の疾患」による医療費が最も高い結果に～

協会けんぽ山形支部において、令和元年度の医療費について分析しましたので、その結果を公表いたします。

山形支部加入者の一人当たり医療費は全国よりも高く、差はさらに拡大

協会けんぽ山形支部の加入者一人当たり医療費は、平成25年度以降全国平均を上回り続け、令和元年度においても全国との差はさらに拡大しております（※参考1 参照）。

山形支部の加入者一人当たり医療費が全国平均よりも高いのは、入院・外来・歯科の区分のうち、入院及び外来の加入者一人当たり医療費が全国よりも高いことが原因です。特に令和元年度においては、入院・外来ともに一人当たり医療費の対前年度伸び率が全国よりも大きくなっております。

山形支部加入者は、医療機関にかかる率が全国よりも高い

山形支部の加入者一人当たり医療費が高い要因として、受診率（医療機関へかかる頻度）が高いことが挙げられます。特に外来医療費については全年齢層において全国平均よりも受診率が高くなっており、一人当たり医療費の引き上げ要因となっています。（※参考2、3 参照）

また、医療費の構成割合を診療種別毎に見てみると、特に循環器系の疾患（高血圧性疾患等）にかかる医療費の構成割合が高いことがわかります。（※参考4 参照）

次に、循環器系の疾患にかかる医療費の構成割合を入院・外来毎に分けてみると、入院医療費においては「新生物」に次いで2番目に高く、外来医療費においては最も高くなっています。

山形支部加入者の年齢構成割合は、全国と比べ高齢層が占める割合が高いため、それに伴い医療費も高くなる傾向にあります。仮に年齢構成割合が全国平均であった場合の一人当たり医療費（年齢調整後）でみてみても、山形支部の一人当たり医療費は全国平均よりも、入院・外来ともに高くなっており

ます（※参考5 参照）。

特に、循環器系疾患については、一人当たり外来医療費（年齢調整後）では疾病別にみて最も高く15,753円となっており、全国との差も最も大きく2,687円となっております。（※参考6 参照）

一方で一人当たり入院医療費（年齢調整後）において循環器系疾患は新生物に次いで2番目に高い8,576円となっているものの、全国との差で見ると▲966円で入院における全国との疾病別の差では最も大きくなっており、全国平均と比較して一人当たり入院医療費（年齢調整後）はかかっていないことがわかります。

一人当たり外来医療費（年齢調整後）が全国比で見ても高い要因としては、山形支部の健診実施率は全国でも第1位と高くなっており、その分、自分の健康リスク（血圧リスク）が判明する率も高くなるため、医療機関へ受診する率も高くなっている可能性が考えられます。（※参考7 参照）

さらに、服薬の開始等で血圧の数値管理を行うことで、重症化を予防することが期待できるため、心疾患や脳血管疾患の発症による入院医療費が抑えられている可能性が考えられます。

山形支部において「高血圧対策」に待ったなし

令和元年度の医療費分析により、特に循環器系の疾患にかかる医療費が全国平均よりも高く、また、全国平均との差も拡大していることがわかりましたが、高齢化が進み、血圧リスクも今後さらに上昇することが予想できる本県においては、高血圧対策等の強化が求められています。

協会けんぽ山形支部では、今後高血圧対策における正しい情報の周知を図り、また、疾病が発症する前の若い世代のうちから健康を意識した生活習慣・食習慣を身に着けるための方策を検討してまいります。

各報道機関様におかれましては、令和元年度の医療費分析結果についてぜひ取り上げていただき、特に循環器系の疾患の医療費が高い現状について報道していただきますようお願いいたします。